

金メダリストとの競演

みなさんこんにちは。中学校は文化祭も終わり、いよいよ受験シーズン到来といったところでしょうか。こちらはと言いますと10月19日(土)に行われるチルドレンズフェスティバル(学習発表会)に向け、練習が佳境を迎えています。そんな中先日ミャンマー政府から『土日と祝日が重なった際、振替休日を設定する』と発表がありました。Vol.6で紹介したように10月には『ダディンジュ満月(今年は10月12～14日)』という3連休があるのですが、それが見事に土日と重なっており…結果、急遽チルフス前が5連休(10月11～15日)となり、練習日が一気に減ってしまいました！果たして発表はどうなるのか！？予定が狂いましたが、それもまた海外の学校の醍醐味。ピンチをチャンスに変えられるよう頑張りたいと思います。



さて、前号で『行事が目白押し』という話をしましたが、今回はその話の続きです。実はサッカー日本代表と交流した2週間後、本校にビッグゲストがやってきました。全日本柔道代表監督の井上康生氏と全日本柔道女子特別コーチの秋本啓之氏のお2人です。この時ミャンマーでは『第15回柔道ジャパンカップ』が開催されており、東京2020年オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて日本国政府が進めるスポーツ国際貢献事業「Sport for Tomorrow」の一環でお2人は来緬していたのです。お忙しい中でしたが大会会場に向かう前に時間を作り、日本の子ども達のために訪問してくれました。



会では2人から話をいただいただけではなく、柔道のデモンストレーションも行われました。柔道着に身を包んだ中学生達が『払い腰』で秋本コーチを投げ、そのたびに会場に大きな歓声が沸いていました。その列の中に怪しい大きな人影が…実は正体は私です。デモンストレーションに参加させていただきました。子ども達は秋本コーチを投げていましたが、私は逆。秋本コーチに『袈裟固め』をかけてもらい、30秒間で抜け出せるかというものです。当然30秒間きっちり押さえ込まれ、私の一本負けでした。私は必死に動いていてわからなかったのですが、会場は大いに沸いていたようで、専門外の体育でしたが頑張ったかったです。



日本人学校に来ると、日本では決してできないような体験がたくさんできることにびっくりします。この3年間で、本当に色々なことを体験させてもらいました。そこで学んだことを、今私の目の前にいる子ども達だけではなく、遠く北海道一帯広・十勝の地で待つ子ども達にも届けたい。心からそう思います。

それではまた来月、こちらでの生活を報告します。

